

令和5年1月

検査実施料新設のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「保医発1227第2号」により、下記項目につき検体検査実施料が新設され、令和5年1月1日より適用されることになりましたので、ご案内申し上げます。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬白

***** 記 *****

■新規保険収載項目

検査項目名	実施料	判断料	点数区分	備考
BRAF V600E 変異タンパク 免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織 標本作製	1,600 点 (400点 × 4回分)	病理 130 点	N002 免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織 標本作製 の「7」	(11) BRAF V600E 変異タンパク免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製は、病理 組織標本作製するにあたり免疫染色を行 った場合に、次に掲げる場合において、患 者1人につき1回に限り、区分番号「NO 02 免疫染色(免疫抗体法) 病理組織標本 作製」の「7」のCD30の所定点数4回 分を合算した点数を準用して算定する。た だし、区分番号「D004-2」に掲げる 大腸癌におけるBRAF遺伝子検査を併せ て行った場合は、主たるもののみ算定する。 ア 大腸癌におけるリンチ症候群の診断の 補助に用いる場合 イ 大腸癌における抗悪性腫瘍剤による治 療法の選択の補助に用いる場合 (12) 早期大腸癌におけるリンチ症候群の除外 を目的として、BRAF V600E 変異タン パク免疫染色(免疫抗体法) 病理組織標本 作製を実施した場合にあっては、区分番号 「D004-2」に掲げるマイクロサテラ イト不安定性検査、又はミスマッチ修復タ ンパク免疫染色(免疫抗体法) 病理組織標 本作製を実施した年月日を、診療報酬明細 書の摘要欄に記載すること。

以上